

防火材（繊維製品、木材等の難燃化に最適）

EXGリペア 防火剤

石川県森林組合連合会認定 国住指第 1256 号 準不燃認定番号 QM-0385

色：無色透明

タイプ：1 液式

主成分：ポリリン酸アンモニウム（食品添加物）、硫酸アンモニウム（食品添加物）

対象物：紙製品（障子・壁紙・襖・包装紙・段ボール・証券・重要書類等）、布製品（カーテン・絨毯・布製ブラインド・シーツ・クッション・ぬいぐるみ等）
木製品（各種木材・ベニヤ等の合板・木製建具・木製家具等）、屋内のみ（屋外に使用する場合のみ当社指定のトップコート使用）

主な特徴

- ・食品添加物を主体とした水溶性防火剤です。
- ・揮発性有機溶媒（VOC）など一切使用しておらず、人体及び環境に優しい製品です。
- ・浸透性のある素材であれば、初期特性（風合い、色、形等）を変えることなく防火性能を発揮します。
- ・スプレー・ハケ・ローラー・含浸など、基材にあった方法で施工できます。また、水性なので、使用後施工器具も簡単に水で洗い流せます。

使用方法

1) 表面処理

EXGリペア防火剤を塗布する前の一般的な材料表面への事前処理として、材料面はゴミ、汚れ、油脂、レイタンス等を除去し綺麗にして下さい。また塗布する製品を乾燥状態にして下さい。

2) 塗布作業

EXGリペア防火剤は、①スプレー吹き方法・②ハケ塗り方法・③含浸方法・④機械含浸方法があります。

①～③は主に紙製品、布製品などの塗布方法で、④は木製品等の塗布方法となります。

*本格的な塗布作業前に必ず少量のEXGリペア防火剤を部分的に塗布し、変色・変形等が無いことを確かめてから塗布して下さい。

①スプレー吹き方法	器具：噴霧機又はハンドスプレー EXGリペア防火剤：原液（3回吹き付け・吹き付け間隔は触手乾燥で確認） 器具を使用して塗布表面から15cm～20cm位の間隔を保ち、多少多めに滴り落ちる位塗布して下さい。 EXGリペア防火剤は簡単に浸透しますので、もし可能であれば両面に塗布して下さい。その後日の当たらない場所で乾燥して下さい。
②ハケ塗り方法	器具：水性塗料用ハケ（3回塗り・塗り間隔は触手乾燥で確認） EXGリペア防火剤：原液 ハケに十分な量のEXGリペア防火剤を含ませて、多少多めに滴り落ちる位塗布して下さい。 EXGリペア防火剤は簡単に浸透しますので、もし可能であれば両面に塗布して下さい。その後日の当たらない場所で乾燥して下さい。
③含浸方法	器具：含浸させる製品が全部入る容器。（パレット・バケツ等） EXGリペア防火剤：原液 器具に十分な量のEXGリペア防火剤を入れ、その中に製品を投入し3分位放置した後、器具から製品を取り出して下さい。取り出すときは、EXGリペア防火剤をよく切ってから日の当たらない場所で乾燥して下さい。
④機械含浸方法	器具：減圧含浸装置（76cm Hg） EXGリペア防火剤：原液 始めに、含浸したい製品のサイズから飽和含浸になるまでの重量を割り出して下さい。 その後、器具に十分な量のEXGリペア防火剤を入れ、まず製品サンプルを使用し、含浸（機械の最大許容負圧で行う）して下さい。 含浸の途中30分間隔でサンプルを取り出し、重量を計りサンプルが飽和含浸になるまでの時間を割り出して下さい。 これで製品の飽和含浸に至までの時間が判明しましたので、次からはその含浸時間に従って工程を行って下さい。 その後、製品を取り出しEXGリペア防火剤をよく切ってから日の当たらない場所で乾燥して下さい。

燃焼試験

石川県森林組合連合会様にて実験実施



左側：EXGリペア防炎剤含浸木材
右側：普通の木材



右側の小屋は全焼状態。左側の小屋は一部炭化しているが発火はしていない



右側の小屋は屋根の一部と軒下部の燃え広がるが左側の小屋は発火せず

使用上の注意事項

- ・ 直射日光、高温多湿を避け、容器を密閉して換気の良いところに保管してください
- ・ 飲み込んだ場合、すぐに口をすすいでください。気分が悪いときは直ちに医師へ連絡してください
- ・ 皮膚又は髪に付着した場合は、直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ、取り除いてください
- ・ 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者にて適切に廃棄してください

包装単位

内容
20Kg 缶

環境にやさしい未来へ！



エクシオグループ株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-29-20

電気・環境・スマートエネルギー事業本部
新領域ビジネス本部 EXG リペア販売担当

お気軽にお問い合わせください。

contact_exgrepair@enp.exeo.co.jp



メール送信 QR